

日の里地区が 目指すまちづくり



日の里地区のまちづくり計画の一部や地区の想いを掲載しています。



地区像

恵まれた立地条件と、豊かな人材を活かした
教育と安全・安心なまちに！
全国に先駆けた、団地再生のモデル地区に！
今こそ住民パワーで「魅力ある住みたいまち」へチェンジ！！

地区の特色

昭和40年代に開発が終了し、多くの新しい人たちが短期間にまちに移り住んできました。住民は新しい地域づくり、まちづくりに積極的に取組み、まちは活気に溢れていました。

しかし、40年を経た現在、建物の老朽化や空家の増加が大きな課題として、加えて超高齢化(31%)と少子化が、まちに急激に襲い掛かってきました。まちの活気はいつの間にか無くなり、そのまま推移すれば日の里地区は衰退の一途を辿るしかない段階にまできています。

まちの活性化のためには、若い世代の積極的な人口流入施策が急務です。各世代のニーズに合った受け皿としての住宅の整備と共に、「学び、成長し、安心して老いることができるまち」への団地再生が求められています。

「魅力ある住みたいまち」づくりとしては、地域資源(利便性・豊かな人材・四季おりおりの自然環境・恵まれた教育環境)を活用した活性化や、子育て環境の充実等を、多様な機関との協働により、性別や世代間を問わない住民すべてが主体的にまちづくりを進めていくことが重要です。

日の里に住む住民が、日の里を愛し「住んでよかった!」とこそって発信する笑顔溢れるまち、そんな日の里のまちづくりを目指します。



抱えている課題

- ・地区の高齢化と小、中学生の減少
- ・URの老朽化と空家の増加
- ・戸建て空家の増加

- ・東郷駅前や、まち全体が暗く寂しい
- ・地域に賑わいがなく、魅力に欠ける

- ・学校・家庭・地域の連携の強化

- ・子どもの居場所がない
(子ども/0~18歳まで)

- ・コミュニティ活動(コミュニティ運営協議会を含む)が住民に十分浸透していない
- ・支援を必要とする人達のコミュニティ活動への参加が少ない
- ・コミュニティ活動の担い手(人材)の充実

- ・コミュニティ・センターが、避難場所として不適合
- ・高台にあるために行きづらい

取組方針

日の里の団地再生 (行政と協働で取り組む)

- ・全国に先駆けた団地再生のモデル地区へ
- ・URの建替え
- ・日の里大通りからJRを跨ぐ道路の建設

景観の向上

駅前広場や駅前空店舗、駅前大通り を活用した駅前の活性化

- ・ボランティア・ステーションの設置
- ・インフォメーション・センターの設置
- ・世代間交流(中高生・若者・子育て世代等を含む)の居場所づくり
- ・世界遺産の玄関口に相応しい駅周辺の賑わいづくり

子どもが育つ姿を見守れる地域に

- ・共に学び共に育ち、未来につなぐ場の構築
- ・子ども会の連携
- ・教育機関と連携した地域人材の活用
- ・防犯対策の強化

子どもの居場所づくり

- ・各世代の参加による放課後プレーパークなどの展開

コミュニティ活動の充実と強化

- ・各事業の更なる充実とPR活動(広報紙・HP・SNS等)の強化
- ・各組織における機能とあり方の再考、及び各組織内・組織間の更なる連携
- ・支援を必要とする人達が参加しやすい環境づくり
- ・担い手の発掘と育成

コミュニティ・センターの移転へ 向けて行政と連携して取り組む